

## ダイバーシティへの挑戦、「聞く」力を養う聖学院の授業 高1現代文“新書でビブリオバトル(注)”開催 ～自ら学び、行動できる「知的リアリスト」を育成～

聖学院中学校・高等学校(東京都北区、校長:角田秀明)は、2018年10月30日(火)に、高校1年生「現代文」の授業の中で“新書でビブリオバトル”を開催しました。この授業では、事前学習として夏期休暇期間中に「新書」カテゴリーの中で10冊の読書をし、そのうちの1冊について小論文を書き、グループで選ばれた5名が「ビブリオバトル」という形で発表します。新書を設定することにより、現代の社会が抱えている諸問題を、他人事ではなく我が事に引き寄せて考えます。プレゼン力以上に他者の意見を「聞く」力に主眼を置き、ダイバーシティ社会の中で生きる力を育みます。2018年冬期休暇期間も読書課題を出し、1月以降は授業の中だけでなく外部団体での発表も企画しています。

### 【コンセプト】

#### ①「聞く」力の育成に主眼を置いた授業

昨今アクティブラーニングの重要性が高まる中、生徒たちは自らプレゼンする場が増えています。一方、他者を理解するためには「話す」力以上に「聞く」力が大切です。自分が触れたことのない考え方を受け止め、解釈し、そこから初めて「話す」ことができます。現代文ではダイバーシティ社会において生徒一人ひとりが他者とつながり、自ら課題を設定・解決できる力を育みます。

#### ②生徒一人ひとりに与えられた賜物(たまもの)を発掘

決して目立つタイプでなくても、深く考えることが得意な生徒がいます。これまでの教育現場では見落とされるケースのあった生徒も、「本」という媒介を通して自分を表現する場が与えられ、周りにいる生徒が「意外な一面を知った」と驚くケースもあります。聖学院ではビブリオバトルを通して、生徒の多面的な個性を引き出し育んでいます。

#### ③知的リアリストを育む授業

現代文では「読む」「書く」「話す」「聞く」力の訓練を通して、SNSやネットの書き込みに安易な同調をするのではなく、現場の利害関係にも向き合いながら「言葉にならない言葉」を自ら紡ぎ、発信できる人材を育てます。「本当は何が起こっているのか?」という視点を持って自ら学び、行動できること。それが聖学院の目指す「知的リアリスト」です。



#### 注) ビブリオバトルとは?

「ビブリオ」は書物などを意味するラテン語由来の言葉で、「ビブリオバトル」とは、立命館大学情報理工学部の谷口忠大教授が考案した、ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」です。ビブリオバトル(発表者)たちがおすすめ本を持ち合い、1人5分の持ち時間で書評した後、バトルと観客が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決定します。

※学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入、SDGsをめざした活動を行っています。

※SDGs…2030年までの実現をめざし掲げられた、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」



【取材に関するお問い合わせ】

学校法人聖学院 学院広報センター 担当 松田・萩野

Tel:03-3917-8530 Email:pr\_h@seigakuin-univ.ac.jp

www.seig.ac.jp

《参考》

学校法人聖学院

創立 1903年

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

【教職員の概要(本務)】

大学教員 97

中高教員 107

小幼教員 32

教員計 236

職員 120

※ 教職員数は2018年5月1日現在(大学院ならびに総合研究所教員は大学教員の内数)

【聖学院各校情報】

所在地 学校法人聖学院

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

聖学院大学・聖学院大学大学院 学生数:1,918人

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

聖学院中学校・高等学校 生徒数:873人

〒114-8502 東京都北区中里3-12-1

女子聖学院中学校・高等学校 生徒数:763人

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

聖学院小学校 児童数:435人

〒114-8574 東京都北区中里3-13-1

聖学院幼稚園 児童数:121人

〒114-8574 東京都北区中里3-13-2

聖学院みどり幼稚園 児童数:92人

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820

※学生・生徒・児童数は2018年5月1日現在